



## 「黄熱ワクチン」について 旅行者の皆様への情報提供

国立国際医療研究センター トラベルクリニック

2013年9月28日

旅行前の健康相談で受診されたケースにおいて、次のような事例がありました。再発防止のために事例の概要と対応策を紹介させていただきます。

### 【事例】

黄熱ワクチンが必要な地域に旅行計画をたてた方が接種を希望して受診。年齢・基礎疾患などから、黄熱ワクチンの接種ではなく接種の「免除証明書」を発行するほうがよいと医師が判断をしました。しかし、ツアーを申し込んだ旅行会社がワクチン接種をしないと入国の際に問題が発生するかもしれないことを指摘し、結果としてツアー申し込みをキャンセルすることになりました。

### 【アドバイス】

黄熱ワクチン接種が入国の際に必要な国でも、医師による「免除証明書」があれば入国できる国がほとんどです。しかし、トラブル回避のため、旅行会社が独自にワクチン接種をツアー参加の条件としている場合があります。ツアー申込前には必ず確認をすることをおすすめします。

【この用紙をプリントアウトしてご持参の上、申し込みカウンターでご相談ください】

#### ■旅行会社に確認すること:

- 1)黄熱ワクチンが必要な地域へのツアーかどうか
- 2)ツアーの条件として黄熱ワクチンが必須かどうか

#### ■病院で医師と相談・検討すること

- 1)年齢・健康状態
- 2)病気がある、治療をしている場合に黄熱ワクチンがうてるかどうか
- 3)渡航先の流行状況

以上をふまえて接種するかどうかの医学的な判断を医師が行います。

※最終的に接種をするかどうかは、患者さんの判断となります。

### 「免除証明書」で入国する際の注意事項

接種した人と100%同じ扱いではありません。入国後、発熱などの症状があった場合には報告を求められることがあります。その後、経過観察が必要になった場合は移動について制限を受けることがあります(旅行スケジュールの変更が必要になります)。国によっては、入国の際にその場で黄熱ワクチンの接種を求められることがあります。「免除証明書」で入国をする場合は、旅行先の在日大使館・領事館に、それでよいか事前に確認をすることをおすすめします。